

# 災害により断水した時の家庭トイレの使い方

秦野市防災アドバイザー

災害時に上水道が止まったり、下水道や汚水管が破損したりしているような場合には、家庭用のトイレが普段のように使えなくなる恐れがあります。そのような場合であっても、家庭で使っている便器が壊れるというケースはあまりありませんので、ちょっと工夫すれば家庭用トイレを使って「排泄」はできます。

その手順を説明します。

## ① 通常のトイレです。



地震でトイレ全体が壊れることは、通常では起きないと考えます。トイレを使う場合は、次項の方法で対応してください。

ただし、家屋が倒壊した場合にはどうにもなりません。

## ② 止水栓を閉めて水が流れるのを防ぎます。



まず、誤って水を流さないようにタンクへ水を入れる管の止水栓をドライバーで締めます。そして、タンクの中の水を別の容器に汲み出してください。この水は手を洗う時などの貴重な水になりますので大切にしてください。

## ③ ビニールの袋で便器を覆います。



便座を上げて、便器の下の部分（便壺）の全体を70ℓのビニール袋で覆います。これは、便器が汚れた時の対応を考えてのことです。

万一、便器が汚れてしまったら、ビニール袋を外して新しい袋で覆ってください。便器を洗う水もないのでこのようにします。

## ④ 便壺の部分を黒のビニール袋で覆います。



黒色のビニール袋を、便壺の部分にかけて便座でずれないように固定します。この袋の中に「排泄」をします。

尿もそのまま袋の中にしてください。

⑤ 排泄をします。



排泄が終わったら、尿(水分)を吸わせるために、介護用の尿パットや「おむつ」などがあればそれを袋の中に入れて尿を吸わせます。

ない場合には、新聞紙やウエスなどを細く切って中に入れて吸わせます。ペット用の「猫砂」や消臭剤があれば吹き付けます。匂いのもとには尿です

ので工夫してください。

⑥ 便座をあげて袋の口を縛ります。



排泄が終わり、防臭作業が終わったら、ビニール袋の口をしまって便壺の中に入れます。

使うのは家族ですので、同じ袋の中に次の人が用を足す(排泄する)ようにして、排泄物の袋の数を少なくするように努力してください。

⑦ 便器のふたを閉めます。



便器のふたを閉めて終わりです。

手を洗う水もありませんので、平時から手指を消毒するジェルや消毒液を備蓄しておいてください。

手指が汚染されると、感染症の原因になります。災害時には体力が落ち、栄養も不足しがちなため、十分に注意してください。

**このようにして各家庭で出る「排泄物」の袋は、普通の可燃ごみとは区分して保管してください。絶対に混ぜないでください。**

※ 災害直後、地域の衛生環境は悪化しがちです。

特に汚水排水が破損や損壊したときは、復旧に時間を要します。

地域の皆が「排泄物の扱い」に気を配り、下水道の復旧を妨げるような行為をすることが無いよう、結束して活動することを求めます。

ルールを守って衛生的環境の維持に努めて行きましょう。